

企画名 やんばる看護管理・看護教育研究会
実施日：8月19日 10月21日
企画実施組織：やんばる看護管理・看護教育研究会（金城祥教 柴山順子 下地紀靖 翁長多代子 石澤かおり）
<p>企画の目的・概要</p> <p>北部地域の看護教員ならびに看護管理者を対象として、現場の課題をもちより懇談会形式で課題解決へむけての看護管理と看護教育で抱えている課題を持ちより多面的な視点から検討することを目的に 隔月の開催を企画した。また看護管理者や看護専門学校の教員が大学院に進学しており、院生の臨床現場における看護管理・看護教育の問題や課題に研究的に取り組んでいることから、合わせて看護学研究科（看護学教育専攻）における研究への取り組みなどの発表の場としても開催した。</p>
企画実施報告(参加人数等を明記)
<p>第6回 看護管理・看護教育研究会</p> <p>1. 日時：平成26年8月19日（火） 18時30分—21時 2. 参加者：12人</p> <p>演題 「新人看護師のチームへの参画プロセスにおける役割認識の変化に関する検討」 柴山順子 「看護師の医療安全コンピテンシー評価に関する研究」 石澤かおり</p> <p>第7回 看護管理・看護教育研究会</p> <p>1. 日時：平成26年年10月21日（火）18時30分—21時 2. 参加者：10人</p> <p>演題 「同僚評価に基づく看護師長のコンピテンシ - の検討」 徳森 朝子 「急性期病院における看護補助者のチームの一員としての役割認識に関する検討」 翁長多代子</p>
企画の実施評価(ケアの質の向上、または大学および地域の貢献)
<p>大学院看護学研究科・看護学教育領域では看護基礎教育における参画型看護教育を理論的に体系づける看護学研究とコンピテンシ - モデルに基づいた看護師のキャリア開発の支援について研究に取り組んでおり、その発表の場となった。また 北部地域の看護系人材の育成とその資質の向上については包括的な視点からのアプローチが求められており、これまで北部地域の保健・医療施設の看護管理者が集う懇話会を平成20年頃から始め通算17回開催しており、本年度からは大学院における研究課題の発表を行ったが、臨床の場からは参加者が少なかった。懇話会においてはそれぞれの施設における看護管理上の問題について情報交換を通じて、問題の共有を行った。しかし、この地域における看護職の慢性的な人材不足の問題や看護職の資質の向上にむけた課題は依然残されている。これらの課題は一施設のみでは決して解決できる問題ではなく行政や職能団体を含めた取組が求められる。北部地域の広域的な課題として組織的に取り組む必要があります。本研究会は小さな歩みではあるが、こつこつと課題解決へ向けたノウハウを蓄積しつつあります。</p>
今後の取組み
<p>今後は大学院の修了生が研究成果を臨床の場においてどのように活用していくのかを報告と評価を行う場として本研究会は継続して開催していくことが期待されている。</p>